

令和2年度第1回三重県医療審議会健やか親子推進部会が出された主な意見

(1) 新型コロナウイルス感染症拡大による母子保健事業への影響等について

(委員) 予防接種率は、三重県では全体的に減っていないと聞いているが、年長になるにつれて若干、去年より下がっているというデータもある。予防接種を避ける人が増えないよう、コロナに限らず啓発を継続していかなければならない。

(委員) 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、3市町が養育支援訪問事業の実施を延期しているということだが、待てる余裕がある事例であればそれでいいが、そうでない事例もあるのではないか。判断が難しいが、そういう点も注意が必要である。

(2) 「健やか親子いきいきプランみえ（第2次）」の進捗状況等について

(委員) 子育て世代包括支援センターは、ほぼ県内には設置して頂いているようだが、数値目標だけではなく、中身の充実に向けて取り組んでいく必要がある。

(事務局) 当初、国の方針もあって、どちらかと言うと量的な面に力を注いできたが、機能的にはまだまだ不十分な所があるのは県としても認識している。引き続き、子育て世代包括支援センターの中で切れ目ない支援ができるよう市町にお願いしていくとともに、関係機関と連携しながら進めていきたい。

(委員) 資料に「健康教育や性教育に関する指導を行う体制の充実を図る」と書かれているが、これからは実施に向けて何ができるかということを議論していかないといけない。

(事務局) 県としてもライフプラン、ライフデザインの教育は非常に重要になってくると認識しており、よりつつこんだ形での取り組みも今後考えていかなければならないと思っている。

(3) 乳幼児死亡の状況と「三重県予防のための子どもの死亡検証（CDR）体制整備モデル事業」について

(委員) 順調に事例は集まっているのか。

(事務局) 本格始動が7月頃からということもあり、年度前半はなかなか十分事例が集まらなかったが、医療機関から情報提供をしっかりと頂き、徐々に事業が進んできた。あくまでも一事例を追求する個別検証とは違い、集団的に見た中で予防可能な死亡がどういうところであって、予防策としてはどうしていけばいいのかということを検討していきたい。

○今後の対応方針

いただいた意見は、「健やか親子いきいきプランみえ（第2次）」の今後の取組等において活用してまいります。